



自転車ルール学習会

8月18日 東住吉北・東住吉南・阿倍野・平野・南平野合同地域活動委員会(大阪市) 参加54名(うち子ども9名)

知ってるかな？

★自転車の「3つの左」

- ①左側に立つ
- ②左側から乗る
- ③左側に降りる



★どこを通ればいいんだろう

- ①道路の左側を通る
- ②路側帯や歩道は歩行者が優先。
人がいれば自転車から降りて
押して歩くか、車道を通る
- ③道路の向こう側に渡るときは
自転車横断帯や横断歩道

自転車は
車のなかまで

「自転車の交通安全ルール」は大阪府警のホームページで詳しく説明されています
https://www.police.pref.osaka.jp/03kotsu/kotsu_anzen/jitensha/jitensya01_1.html

道路交通法の改正にともない、今年6月から自転車運転に関して制度が変わっています。交通トラブルの加害者にならないためにも「自転車の正しいルール」を学ぼうと、阿倍野警察交通課の方に来ていただき学習しました。

やさしい口調でお子さんにもわかり易い交通標識や信号の説明の後、正しい自転車の乗り方と危険な走行の例をDVDで見てから質疑応答。青信号は「す・す・め」ではなく「渡ることができ」る。黄色の信号は「注意」ではなく「と・ま・れ」だと、学校の安全教室では教えていますとの話も聞きました。

小学生のお子さんの参加もありましたが、大人もしっかりと学習する良い機会になりました。



ナリス化粧品の商品ができるまで ~工場見学~

9月15日 旭地域活動委員会(大阪市) 参加27名



「秋のお肌ケアのポイントは、夏の紫外線などで厚くなった角質を取り除くこと」と川崎さん。フリーリアシリーズのふきとり化粧水「フェイスクリア」を試してみると...



「フェイスクリア」でふきとった方は化粧水が染み込むわぁ♪

フェイスクリア
180ml+コットン1箱付
次回企画:
11月2回

県三木市にあるナリス化粧品の兵庫工場へ訪問。まずは商品の学習と季節の肌ケアのアドバイスを聞きました。

国産生バラを使用したフリーリアシリーズ。この日は中でも角質ふきとり化粧水の「フェイスクリア」が大きな話題でした。「角質が溜まるのは、①加齢②紫外線③乾燥が原因。新陳代謝(細胞の生まれ変わり)が年齢とともに遅くなると、強い紫外線を浴びることで肌が壁を作り、乾燥した空気によっても新陳代謝が遅くなります。肌は約15枚の層で守られています。そこに角質がたまる(積み重なる)と透明感が無くなると、シワが深く刻まれ目立ちやすくなるという悪循環が。余分なものを取り除いてから、必要なものを与えるという基本のケアが大切です」という講師の言葉にみなさん納得。実際に試して効果も実感できました。

工場では、ちょうど「フェイスクリア」が製造ラインを流れている最中で、ボトルへの充填から箱入れまでを見学することができました。ガラス越しでしたが目の前を流れる商品にみんな感激。愛着が湧いた「衛生面が徹底されていることも分かり良かった」と感想が出されていました。



講師の川崎さん

すこし過ぎやすくなつた秋晴れの陽気のなか、兵庫



工場内は生産管理課の片山さんが丁寧に説明をしてくださいました



平和を考える ~ピースおおさか見学~

9月18日 みなみ地域活動委員会(枚方市) 参加11名



1トン爆弾の複製模型

防空壕の疑似体験ができる横穴の中は暗く、急にやってくる空襲の大きな音に恐ろしさを感じる



太平洋戦争の時の公告ポスターも展示



スフィア界隈のジオラマにプロジェクションマッピングが投影され空襲の様子を伝える

戦後70年の節目で今一度平和について考えようと、大阪城の横にあるピースおおさかを見学することにした枚方のみなみ地域活動委員会。この日は大阪府下の小学校からたくさんの子どもたちも学習に訪れていました。

今年4月にガラリと変わった展示内容は「大阪空襲」が中心になり、プロジェクトショーマッピングなど最新の方法でリアルに感じることができるよう。証言と体験画の回廊には、長柄橋の下に火傷を負った人が集まる様子や原子爆弾の模擬爆弾が投下された絵に悲惨な情景が描かれているものも。「こんな展示や添えられている説明を見るだけで涙が出るね」との感想や、「個人ではなかなか



ピースフェスタ2015 ~世代をこえて楽しもう!!~

8月22日 寝屋川東・北・中央・西香里・南・打上地域活動委員会(寝屋川市) 参加207名



7色の折鶴で虹を作ったピースメッセージには参加者も平和の願いを書きました



息子はまだ小さいから戦争の事は良く分からなかったかもしれないけれど、何か感じてくれればいいなと思います

モンペを試着してくれた親子



人形劇団ピエロック一座によるチャップリンの「街の灯」



石臼で「はったい粉」作り体験



地域のみなさんとレインボーコーラスの方が熱唱「ぞうれっしゃがやってきた」

被爆・終戦から70年。あらためて平和の大切さ、いのちの尊さを子どもたちに伝えようと、今年も寝屋川でピースフェスタが開催されました。

開場前から多くの人が訪れ、地域に浸透している行事と感じながら寝屋川組合員会館に入ると、壁には原爆の悲惨さを伝える写真や新聞が貼り出され、まず学べることができるようになっていました。メイン会場では、「すいとん」などの戦時中の食べ物や食生活の展示が、子どもが楽しめるようにあそびのコーナーも充実。ステージでは人形劇も行われました。各委員会の代表者からは「平和が大事と一日通して感じてもらえた」「このような時代があったことを忘れないでこれからも伝えていきたい」と熱い思いが語られました。